

平成29年度 1学期 生徒による授業評価の分析と改善方針(1学年)

	集計結果による分析	改善方針
国語	多くの項目で多くの項目で概ね良好な結果が得られたが、「進め方」「取り組み」が低かった。古典の苦手意識も顕著になってきた。学校に慣れてきたのか落ち着かない生徒も少し出てきた。	中学校で学んだことをより発展・拡充させていくために基礎的なことの徹底・関連付けをしていく必要がある。また、生徒の取り組みを促すために対話的で活動的な授業をしていきたい。
社会	「とても当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計が9割を超えており、概ね良好な結果であった。気になる点としては、「生徒への接し方」「学習への取組」の項目で、「とても当てはまる」の割合が6割を切っていた。	より生徒一人ひとりの状況を把握して、授業中のきめ細かな声かけを実践していく。
数学	基礎基本の定着を重視して授業内容については教える側で教材の工夫を日々行っており、分かりやすい説明を心がけている。生徒の質問に対しても真摯に対応し、中学数学から高校数学への切り替えを生徒自身に促しているところである。	生徒の学習の拠点が学校にあり、予習・復習などの家庭学習が十分に行えていない状況で、学校での学習・家庭での学習が有機的に結びつくような指導・展開が今後期待される。
理科	1年必修科目の化学基礎において、「とても当てはまる」と「だいたい当てはまる」を合計した評価の割合が、いくつかの項目で90%以上であり、おおむね良好であったが、「授業の進め方」「生徒主体の授業の工夫」「生徒への接し方」の数値が低い結果となっている。	生徒の理解度を確認しながら進めていくのはもちろんのこと、発言やグループワーク等を通して、自らの意見を伝える場面を増やす。また、グループごとの意見を発表する機会等を設け、言語活動の充実を図りながら生徒主体の授業を展開していく必要があると考えられる。
体育	授業にたいして意欲的に取り組んでいる生徒が多く、充実度は高い。「もっと種目選択を増やしてほしい」などの要望があった。	特に問題はないが、施設充実が可能であれば、さらに良い授業が展開できると思う。今やっている授業をより充実させ、生徒の意欲・関心を低下させない授業展開が大切である。
保健	「授業の説明がわかりやすい」「知らないことを知ることができていい」などの感想があった。体育同様、充実度と、学習への取り組みは、高い値になった。	今やっている授業をより充実させ、生徒の興味・関心を引く教材の精選や授業のやり方や、生徒主体の授業の工夫が必要と思われる。グループワークを工夫して取り入れていきたい。
美術	1学期は短時間で多くの課題を制作する基礎的な内容だったが、提出状況などは良く、全体的には良い取り組みであったと感じていたが、指導方法としては課題を考える時間を増やす必要があると感じた。	2学期は時間をかけた課題となるので、生徒の個性を十分に発揮できるように、教材研究を徹底したい。毎回、授業での到達目標を設定して、進度の差がでないようにしていきたい。
音楽	殆どの項目でほぼ満足していることが伺えるが、④生徒主体の授業の工夫と⑦学習への取組の項目が他の項目に比べると低いので改善する必要がある。	2学期は歌唱中心の授業になるので、充実感、満足感を与えられるように教材研究を徹底したい。生徒同士が話し合う機会や意見を発表しあう機会を設け、生徒が主体となる授業を心がけて学習への意欲を高めていく。
英語	ほとんどの項目で「とても当てはまる」「だいたい当てはまる」の回答が得られている。「授業の充実感」に16パーセントの生徒があまり当てはまらないと答えている生徒がいるところが気になる。	1学期は中学校英語の復習、高校英語への導入の部分が大半を占めていたので、2学期からは内容、授業のスピード等のレベルを上げたい。生徒の学習状況に応じて個別で補習したり、声掛けを徹底していきたい。
家庭	当てはまると回答した生徒が多くを占めているが、「学習への取り組み」と「生徒主体の授業の工夫」に当てはまらないと回答した生徒がおり、改善していきたい。	生徒主体の授業になるように被服実習などを行い、生活と密着させて興味・関心を持たせたい。
情報	『生徒主体の授業の工夫』について、当てはまらなという回答が他項目に比べて多かった。機器の操作方法の説明や課題作成の作業が中心であったためと思われる。	2学期以降のプレゼンテーション等の実習で、生徒が主体的に活動する場面を意図的に多く取り入れていくとともに、生徒のアイデアや言語活動を大切に、達成感をもたせていくようにする。

平成29年度 1学期 生徒による授業評価の分析と改善方針(2学年)

	集計結果による分析	改善方針
国語	全体的に中だるみの傾向がうかがえる。特に学習への取り組みが前年度に比べて弱い。それが充実感の低さにつながっている。難解なもの一つひとつ読み解B16:C25<意欲が不足している。	授業内容をよりわかりやすく生徒に伝えられるように改善し、より充実感を感じられるような音読や発表の機会を多くするなど、生徒が主体的に取り組める授業展開に心がけたい。
社会	「準備・教材の工夫」「説明のわかりやすさ」の項目は比較的评价が高い一方で、「授業の充実感」「生徒への接し方」「学習への取組」の項目は、当てはまらなという回答が比較的多い。	生徒一人ひとりの状況を把握する場面をこまめに持つよう心がけ、生徒が授業に充実感を持って自分から学習に取り組もうと思えるような授業をめざして改善していきたい。
数学	多くの項目において概ね良好な結果が得られたが、「授業の充実感」「授業の工夫」が低かった。時間数に対して扱う内容が多く、教科書中心の進めるだけの授業になり、理解が不十分な生徒が多くなったためと思われる。	三角関数、指数関数、対数関数、微分積分とさらに授業内容も高度になっていくため、基礎基本の習熟を図りながら、進度・内容を工夫していく必要がある。生徒の「分かる」から「理解し他に説明できる」ように生徒各自のステップアップを図りたい。
理科	高評価の割合が、ほとんどの項目で90%以上と良好な結果がでており、授業内容は概ね理解されているものと思われる。物理基礎に関しては「学習の取り組み」が若干低い結果に出ている。内容が少しずつ難しくなり、意欲的に学習に取り組める生徒が減少していることが原因だと考えられる。	学習の取り組み状況を良くするためにも、生徒の理解をより一層深めることが大切である。章末の計算問題を解かせる時間を十分に取り、机間指導で一人ひとり個の対応を行ってそれぞれの課題を克服できるように努める。また、計算問題を解く演習時間はグループワークで行い、生徒同士の学びあいが生まれるような支援を行う必要がある。
体育	集団行動・陸上競技・球技を実施。「選択種目は楽しい」「もっと球技をやりたい」などの感想があった。充実度と取り組む姿勢は、非常に高かった。	生徒主体の授業を心がけ生徒の意欲・関心を低下させない授業展開が大切である。また将来のスポーツ活動に役立つ知識や技能の習得に役立つ教材の精選や指導を心がける事が必要である。
保健	「教科書以外のことも、詳しく説明してくれる」などの感想があった。充実度と取り組みは一年よりやや低いが、態度・姿勢は高い。単元が難しいこともあったと思われる。	今やっている授業をより充実させ、生徒の興味・関心を引く教材の精選や授業のやり方などの工夫が必要である。生徒自ら考えさせるグループワークを増やす必要があると考える。
美術	すべての項目で「とても当てはまる」、「だいたい当てはまる」が90%以上であった。満足度の高い評価となっているが真剣に課題に取り組む生徒も多いが、最後まで根気強く取り組めないことがある。	2学期は工芸課題があるので、制作工程(プロセス)が非常に重要になってくる為、理解が深められるようにプリントや教材見本など工夫して取り組みたい。充実して制作活動ができるように教材の準備を徹底したい。
音楽	全ての項目で「とても当てはまる」と「だいたい当てはまる」の高評価が90%を占め、概ね良好な結果がでてくる。特に⑧態度・姿勢の項目がよく、意欲的に取り組んでいることが伺える。	2学期はアンサンブルなど自主的に活動していくことが多くなるので、それぞれに合った課題を出し、より音楽を愛好する心を育てるよう、様々な音楽に触れるようにしていく。
英語	ほとんどの項目で「とても当てはまる」「だいたい当てはまる」の回答が得られている。ただ「授業の充実感」に20パーセントの生徒があまり当てはまらなと答えている生徒がいるところが気になる。また、成績のわりに自分の取り組みについては良い評価をつけているところが気になるところである。	ビジュアルでよりわかりやすいもの、生徒のレベルに合わせてのよりシンプルなsummary、作文などをaccuracy(正確さ)よりfluency(流暢さ)を尊重することによって苦手意識を持つ生徒にも前向きな気持ちを持たせていくことが重要である。2年生後半に向けて生徒に刺激を与え、視野を広めさせることが必要である。
家庭	全体的に「とても当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計が約90%を占めている。「生徒主体の授業の工夫」のポイントが低く、改善していきたい。	課題解決学習や実習・実験を増やし、生徒主体の授業展開になるよう工夫する。生徒の反応を捉え、理解度・満足度をこまめに確認しながら授業を進めていくよう努力する。調理実習を多く取り入れて、知識だけでなく技能も身に付けさせたい。

情報	ほとんどの生徒が、すべての項目において当てはまると回答した。	1学期までと同様に課題を工夫し、生徒の活動をしっかりと観察しながら授業を進めていく。
----	--------------------------------	--

平成29年度 1学期生徒による授業評価の分析と改善方針(3学年)

	集計結果による分析	改善方針
国語	授業内容・指導方法及び生徒自身の取り組みについて、ほぼ満足な状態であるということがうかがえる。特に『精選現代文』『理系現代文』『国語探究』では満足度が高い。	生徒各自の進路実現にむけて授業内容の充実を図ること、またより主体的に取り組むことのできる授業展開を積極的に授業に取り入れていくことが望まれる。
社会	ほとんどの項目で、「とても当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計が100%であった。「生徒主体の授業の工夫」「学習への取組」の項目で、1～2名の生徒が「あまり当てはまらない」と回答していた。	生徒が主体的に取り組める場面をより増やしていけるようにしたい。少人数授業の利点を生かし、より生徒一人ひとりの苦手を克服する指導を実践していく。新聞やニュースについての関心が全体的にまだ低いため、生徒が関心をもちやすい形での説明を工夫する。
数学	全体的に『生徒主体の授業の工夫』の満足度が低く、生徒はもう少し動きのある授業を欲しているのかも知れない。問題演習が中心の授業展開で、教員主導で生徒のレベルアップを図る必要もあり、生徒の意識と若干差があるようだ。	生徒が問題を解く演習時間を十分に確保する一方で、物理的な事柄との関係も強調して、上級学校へ進学した後の学力の基礎作りをしていきたい。生徒自らが考え問題解決が出来るように基礎力を充実させ、教室内の雰囲気、互いに教え合い学び合えるように工夫していきたい。問題を解く楽しさ、面白さで充実感が感じられる授業にしていきたい。
理科	全体的に高い数値となっているが、充実感を感じていない生徒や取り組みが悪いと回答した生徒が1桁いた。また、「生物」においては「説明の分かり易さ」の項目で「とても当てはまる」を選んだ生徒が89%と、生徒にとって満足のいく授業が展開されている科目も存在する。	2学期は、進路が決まった生徒が増え、授業の取り組み状況がより悪くなってしまいう可能性が出てくる。そのため、生徒の興味を惹くような教材の研究に努め、学ぶ楽しさを感じる授業展開を作っていきたい。
体育	生徒各自が自分の好きな種目を選んで行う授業のためかそれぞれが自主的・意欲的に運動に関わり、とてもよい雰囲気で行われた。1、2年と比べ、充実度、取り組みは非常に高かった。	今やっている授業をより充実させ、生徒の意欲・関心を低下させない授業展開が大切である。個人・チームの課題解決について多くアドバイスし、自ら課題解決できるように促したい。
美術	授業内容(①)、指導方法(⑤⑥)、自分自身の取り組み(⑧)について90%以上が「とても当てはまる」、「だいたい当てはまる」であったが、授業内容(②)、生徒主体の授業の工夫(④)では86%であった。課題については進め方をしっかり組み立てて最後まで根気強く取り組めるようにする必要があると感じた。	積極的に授業にのぞめるように、作品制作の為の資料収集や鑑賞方法、素材研究など、授業以外での勉強方法についても指導していきたい。充実して興味を持って制作活動ができるように教材の準備を徹底したい。
音楽	全体的に例年よりもポイントが低く、特に②授業の充実感を当てはまらないと答えた生徒が30%いた。今年には人数が多く、1人に割ける時間が少なかったため、内容のあるレッスンができていないと感じている。	個人レッスン時間が短いので、夏休みに希望者のみ個別で補習を行った。上達や成果が大きく見られたので、これからも放課後等に補習を行い授業のレッスン時間の短さをカバーしていく。人数が多くピアノに触れる時間が少ないことや、個人レッスン時間の短さはカリキュラムとしても改善する必要があると感じた。
英語	ほとんどの項目で「とても当てはまる」「だいたい当てはまる」の回答が得られている。ただ「授業の充実感」「授業の進め方」の項目において「あまり当てはまらない」が二桁の人数がいる点が気になる点があるところである。	生徒が主体的に学習へ取り組みたくなる工夫が求められている現状がある。よって生徒の理解度に合わせ教材研究をより深め、生徒が充実感を持てるような活気のある授業を展開していきたいと思う。
家庭	少人数で細かい指導ができたので評価が高い。保育園実習はとても充実した実習が行えた。	より良い保育園実習ができるように知識や技術を身に付けて、進路に繋いでいきたい。